

日進市とオーエンズボロ市との今後の交流方針について

■現状・経緯

行政交流	<ul style="list-style-type: none"> ●平成19年4月に姉妹都市／地域提携 ・平成24年2月にオーエンズボロ市からリバーフロント開所式の招待が届く（欠席） ・提携以降続けていることは、クリスマスカードとグリーティングカード（年賀状）の交換
民間交流	<ul style="list-style-type: none"> ●日進市国際交流協会 ・平成22年11月に初の市民交流訪問を実施 ●中部大学第一高等学校とデービスカウンティ高等学校 ・平成21年11月に姉妹校提携 ・平成22年に相互訪問を実施するも、それ以降の交流は休止状態となっている ●名古屋外国語大学とブレシア大学 ・平成22年10月に国際交流協定を締結 ・平成25年9月から12月までの予定でブレシア大学の留学生来学（11月6日 市長表敬訪問） ・外大からブレシア大への留学生実績はなし ●企業間交流は特になし

■課題

行政交流	<ul style="list-style-type: none"> ・双方の財政的事情 ・平成23年6月末に姉妹都市の事務局長ビル氏が退職 ・キーパーソンの不在
民間交流	<ul style="list-style-type: none"> ・キーパーソンの不在 ・商業、工業交流について行政から働きかけることは行ってきていない

■今後の方針

- ・行政交流は基本的に実施しないこととし、学校間交流や民間交流の側面支援を行っていく。
- ・市制20周年交流事業は実施しない。

行政交流	<ul style="list-style-type: none"> ・年賀状・クリスマスカードの交換 ・下記取り組みについてメール等を送る
学校間交流（市内小中学校）	<ul style="list-style-type: none"> ・新たな取り組みとして、小中学校間における絵画交換などの交流を検討する
学校間交流（私立高校・大学）	<ul style="list-style-type: none"> ・中部大学第一高等学校と名古屋外国語大学の取り組みを支援する
民間交流	<ul style="list-style-type: none"> ・市国際交流協会による交流活動を支援する ・オーエンズボロ市関係者の来日等がわかった場合、市長表敬訪問や市国際交流協会によるおもてなし事業を支援する

ベトナム ハノイ、ホーチミンでの文化協会海外文化交流研修 について

日進市文化協会は毎年、異文化交流会を目的に欧米、アジアの各国を訪問しており、今回の20回目となりました。

この節目の年に日越国交40周年を迎えたベトナムを選びました。

10月5日～9日の日程でベトナム・ハノイ市・ホーチミン市を訪れました。ハノイ市では文化交流会として協会の会員を中心とした64人とベトナム伝統舞踊団とハノイ市等が参加し盛大に行われました。

交流会の中身としましては、親書贈呈、記念品交換会をした後、ハノイ市側は伝統舞踊である麒麟舞の演舞、伝統楽器カーチューを披露し、日進市側は民踊、書道、歌の披露や抹茶のおもてなしをしました。二つの国が異文化の交流を通してそれぞれの良さや趣を感じ取ってくれたのではないかと考えております。

文化交流会のほか、現地の世界遺産ハロン湾に行き水上村に上陸したり、鍾乳洞散策や絵付け体験や寺院に行き文化の違いを体感してきました。また、ベトナム戦争の現場であったクチトンネルにも行くことで当時の様子やベトナム人の歴史や考え方を学ぶこともできました。

ホーチミン市では、近代的になってきたベトナムを拝見することもでき、同じ国内でもハノイの旧時代的な様子との違いに驚きを感じました。